



小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社 コンフォート	代表者	平 俊夫	法人・ 事業所 の特徴	事業所は静かな住宅街にある平屋で、夜間以外は施錠せず誰が来てもOKとやすくしている。また、庭には畑や畑に降りられるスロープもあり季節の野菜を栽培し利用者の皆さんと収穫し食事として提供したり、花見をしたりして季節感を感じてもらっている。ウッドデッキもあるので外でのレクやおやつなども楽しめる。
事業所名	小規模多機能型居宅 介護事業所くくば原	管理者	横川 由紀子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	0人	0人	1人	1人	0人	2人	0人	6人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	2019 年度に作成したケア内容一覧表をしっかりと活用、評価して出来る範囲にはなるが個別対応を検討、実施する	3ヶ月に1回、見直し検討を行う予定だったが、予定していた時期がズレてしまったがなんとか行っている。	欠席に常勤が居たが、3分の2は出席し、今回の改善計画もしっかり立てられていると思う。	ケア内容一覧表の見直しは行ったが活用が出来て無かったで、2021年度は評価した上で介助方法を職員で統一し活用していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	四季折々の花を植える事で一年中花を見る事が出来るので、咲いたら事業所を利用者や他事業所に声掛けし交流をしていきたい	桜が咲いた際に、デイ長田の職員と利用者の方が来てくれた	職員と利用者と一緒に、ウッドデッキで桜を見せてもらったが居心地が良かった。エスケープが多いが、鍵を閉める事なく対応していると思う。	四季折々の花を地域や他事業所にも見られる様に検討し、案内しながら当事業所の利用者が庭を見たり外に出たいと思う気持ちを止めない様に今後も施錠しない様にしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	2019 年に作成したポスターをもっと興味を引く内容に変更し、地域のお店に貼ってもらうのと包括にも持参しサークルに参加している方に案内する	2020 年度はコロナ感染拡大予防で行えず	コロナ感染拡大予防で地域との関わりが無かったのは、仕方がない事だと思います。外（ウッドデッキ）を活用し換気と密を避けて何かできないか。	ウッドデッキを事業所以外の方でも活用できるように職員で案を出して、案内文が出せる。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	包括主催の「ゆんたく会」に管理者だけではなく、職員も順番に参加し地域と交流を持つ	2020 年度はコロナ感染拡大予防で開催なしの為、不参加	コロナ感染拡大予防で地域との関わりが無かったのは、仕方ない事だと思います。日頃からドライブに行き、利用者を閉じ込めてしてないと思います。	再開している「ゆんたく会」に、職員が順番で参加し地域との交流を持つ。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で地域の方の声を確認を継続していくのと、まだ参加出来ない職員が運営推進会議に参加する事で運営推進会議で何を理解しているかを理解してもらう	4 月はコロナで職員のみで、6 月の職員のみが初めて参加した	コロナ感染拡大予防で、職員のみでの運営推進会議で今まで出席出来ない職員も参加出来ると思う。職員だけの運営推進会議は無かったので新鮮な感じもあった。	運営推進会議の議事録を全職員で確認していく。また、改善が必要な事があれば皆で考え検討する。
F. 事業所の防災・災害対策	2019 年度は消防に地震を想定した避難訓練の取り組みを確認するだけで終わってしまったので、2020 年度は地震想定での避難訓練をしっかり行う	年 2 回の避難訓練は 6 月と 12 月で開催。地震想定も 12 月で開催出来た	地域での避難訓練などは行っているか？自治会との関係性が出来てないので情報が無い。 12 月に 2 回目の避難訓練と地震想定を行う。	2021 年度は、地震から火災の流れで避難訓練を行う。